

出演

拉絳人男聲合唱團 (男声/台北)

指揮：聶焱序

拉絳人男聲合唱團は「成功高級中学校 0B 合唱団」を前身として 1998 年に結成。2003 年から 6 年連続で、行政院文健会の指定する育成演芸団体に選出、男声合唱の新たな可能性を探り、合唱芸術を世に広めることに力を注いでいる。

国内での 6 度のチャンピオンをはじめ数々の賞を受賞、各地のフェスティバルからの招待を受けている。2002 年、韓国・釜山で開かれた第 2 回合唱オリンピックにおいて、3 部門の金賞および男声合唱部門のグランプリを獲得。

2003 年、第 20 回記念宝塚国際室内合唱コンクールに於いて、2 部門で金賞にを獲得し、全体の 2 位に輝く。

2004 年にはドイツ・ブレーメンで開かれた第 3 回合唱オリンピックに参加。2 部門で金賞を受賞した。

2007 年にはフランスの第 36 回フロリダジュ国際合唱コンクール・トゥールに於いて、同声部門のグランプリとフリー部門の 2 位に加え、特別賞を獲得した。

2008 年には台湾におけるゴールドディスク賞で 3 部門にノミネート、最優秀演奏賞を獲得した。

同年のムジカ・ムンディの世界合唱団ランキングに於いて、全体の 6 位及び男声部門の 1 位を獲得した。

2009 年、第 25 回宝塚国際室内合唱コンクールに於いて、ルネサンス部門の銀賞及び近・現代部門の金賞を受賞、全体の 1 位を獲得した。

<http://www.taipeimalechoir.net.tw/main/aboutus.php>

賛助出演：

合唱団お江戸コラリアーズ (男声/東京)

指揮：山脇卓也

指揮者：山脇卓也を中心に「楽しく歌い、飲み、騒ぐ」活動を精力的に続けている。

これまでに東京都合唱コンクールにて金賞、男声合唱フェスティバルにおいて人気投票一位、かながわヴォーカルアンサンブルコンテストにて金賞(男声部門一位)、第 1 回全国男声声楽アンサンブルコンテストにて伴奏部門最優秀賞を受賞。

信長作品を重要なレパートリーの一つとしており、2004 年には「男声合唱のための宮崎駿アニメ映画音楽集」を、2007 年には「ラグビー」を委嘱。2007 年には信長作品のみでの演奏会も開催した。男声合唱の新たな響きとスタイルの獲得を目指し活動している。

<http://oekora.net/index.html>

Canto di Alauda (女声/埼玉)

指揮：三好草平

2003 年 5 月に埼玉で結成された女声合唱団。団名は「ヒバリの歌」を意味し、5 月にそろう歌いだすヒバりに準えている。

結成以来各地の合唱祭やコンクールに参加。特に埼玉ヴォーカル・アンサンブル・コンテストにおいては 3 度の金賞を獲得するなど、活躍している。

また、単独での 2 度の演奏会のほか、近年ではお客様とより近い距離で楽しめるミニコンサートを毎年開催。

このほかジョイントコンサートなどを通じ、国内外の合唱団と交流をしている。

<http://chorusnews.net/Alauda/index.html>

拉絳人男聲合唱團

東京公演



2009 年 7 月 29 日

杉並公会堂 大ホール

主催：拉絳人男聲合唱團 東京公演実行委員会

後援：東京都合唱連盟 / 埼玉県合唱連盟

台北駐日経済文化代表処 / 在日台湾同郷会

節目單

1st Stage - 拉絳人男聲合唱団 -

If Ye Love Me (Thomas Tallis)

イギリス・ルネサンスを代表する作曲家トーマス・タリス。“40声”と通称される「我、汝の他に望みなし」や「預言者エレミアの哀歌」に代表される美しくも切ないポリフォニーが特徴。「もし汝を愛さば」はポリフォニーの美しさはもちろん、冒頭のホモフォニーが印象的である。

Sicut Cervus (G. P. da Palestrina)

ルネサンス期を代表する巨匠、バレストリーナ。残された通作ミサが100曲以上、モテットが250曲以上という作品数からも当時の活躍がうかがえる。「谷川の水を求める鹿のように」は旧約聖書の詩篇42よりテキストが採られている。

All That Hath Life & Breath Praise Ye the Lord (René Clausen)

現代アメリカの作曲家による作品。喜びにあふれる曲で、造物主たる神への賛美を歌っている。

2nd Stage - Canto di Alauda -

舞の歌 (沖縄民謡／中村透 作曲)

伊江島の古い民謡である「海ぬチンポーラ」をもとにした作品。やがて沖縄本島の遊廓へ伝わり、民謡としてだけでなく、舞の歌としても親しまれるようになった。コミカルな歌詞と軽快なメロディ、“サーサ”の掛け声が、沖縄の陽気な雰囲気を出している。

天鳥鳥 (台湾民謡／蔡昱姍 編曲)

雨を歌った民謡が多くある台湾でも非常に有名な曲のうちの1つ。台湾において編曲作品を多く発表している蔡昱姍は、7拍子のリズムを効果的に取り入れ、ドラマチックでコミカルな曲に仕上げている。

花色カメレオン (工藤直子 作詩／松下耕 作曲)

『ふくろうめがね』に収められている1曲。重量感のある和音の連続が、複雑なリズムを着飾ってむしろ軽快に聴こえ、工藤直子のやさしい詩が一層色鮮やかに表現される。次々と音色を変化させていく姿は、まるでカメレオンの変身そのものよう。

鳥 (川崎洋 作詩／松下耕 作曲)

八分の六のリズムに乗った優しいメロディーが、優雅に空を飛ぶ鳥を連想させる美しい曲。ゆっくりと空を渡る鳥、風を切って空を駆け抜ける鳥、群れをなして飛んでいく鳥……。さまざまな鳥たちが曲中に現れ、鳥に寄せる思いと共に高まっていく。

3rd Stage - 拉絳人男聲合唱団 -

『地平線のかなたへ』より (谷川俊太郎 作詩／木下牧子 作曲)

サッカーによせて
二十億光年の孤独
ネロ - 愛された小さな犬に

日本はもとより、近年は台湾でも注目の高まっている作曲家、木下牧子。年齢、声部を問わず様々な合唱団から支持されているが、その中でも『地平線の彼方へ』は全ての声部に編曲され、最も広く歌われている作品のひとつといえる。曲集の冒頭に収められた「春」は特に人気が高い。

きみ歌えよ (谷川俊太郎 作詩／信長貴富 作曲)

現在の信長人気を確立した作品とも言える『新しい歌』の第3曲。東京六大学合唱連盟の合同による初演後すぐに混声へと編曲され全国へと広まった。

赤とんぼ (三木露風 作詩／山田耕筰 作曲／信長貴富 編曲)

誰もが知っている山田耕筰の名作「赤とんぼ」。“日本の名歌を難しくなく、ア・カペラで”というコンセプトのもとに作られた『ノスタルジア』中の1曲。

4th Stage - 拉絳人男聲合唱団 -

Dálvi duoddar luotti (Seppo Paakkunainen)

ラップランド民謡。日本では「冬山のヨイク」という名で親しまれている。倍音唱法による独特の響きと、朗々と歌われるソロが印象的な作品。

To ~ Music, When Soft Voices Die (林明杰)

Ave Maria (林明杰)

台湾の現代作曲家による作品。

津軽じょんがら節 (青森県民謡／松下耕 作曲)

民謡の動態保存をライフワークとする松下耕の作品。津軽三味線を模した勇壮で力強い響きの中で、高らかにお国自慢が歌われる。

5th Stage - 合唱団お江戸コラリアーズ -

Hymn (Jean Sibelius)

フィンランドを代表する作曲家シベリウスの作品。フィンランド初の産科教授の記念碑除幕式のために、1896年に作曲された。詩は偉人の功績を讃えるもので、これに相応しい和声中心の重厚な音楽がつけられているが、その中に彼の労苦を偲ぼせるような半音進行や、巧みな和音の変化がある。そのためか、一見単純そうに見えるものの、実に奥深い味わいを持つ作品となっている。

「合唱のためのコンポジション第6番」より II (作曲：間宮 芳生)

「合唱のためのコンポジション」は間宮の民俗音楽に対する探求心が結実した作品群として名高く、現在までに17の作品が書かれている。本日演奏する第6番の2楽章は、青森県の八戸神楽の「権現舞の唄」、八戸えんぶりの「御祝」が用いられる作品。曲は一貫して阿波踊りと同じ、日本の魅力的なリズムにより書かれており、陽気で威勢の良い、祭りのような雰囲気である。

Choral Cepstrum of Yidaki for male chorus (作曲：池畑 光浩)

2009年度委嘱作品。新進気鋭の作曲家、池畑光浩が作曲。オーストラリアの先住民民族であるアボリジニの木管楽器である「ディジュリドゥ」をモチーフにしている。ベースの模したディジュリドゥの上に、リズム楽器やシンセサイザーのようなハーモニーがつけられており、テクノミュージックのような様相を見せる。民族音楽と現代の音楽のコラボレーションを楽しんで頂ければ幸いである。

虹 (作詞・作曲：森山 直太朗、御徒町 凧 編曲：信長 貴富)

平成18年度NHK全国学校音楽コンクール中学校の部の課題曲。人気シンガーソングライターの森山直太朗が作曲、今をときめく合唱作曲家である信長貴富が編曲したことで、大きな話題となった。曲は、人の出会いと別れを主題にしており、その合間に見える虹を人と人との絆に重ね合わせている。ポップス調の親しみやすい曲想も相まって、現在でも卒業式などで歌われている。

6th Stage - 拉絳人男聲合唱団 -

一隻鳥仔 (嘉義民謡／曾興魁 編曲)

台湾中部嘉義の民謡。植民地化への抵抗をうたった歌で、鳥の鳴き声を泣く声として捉え、悲しみを表現している。

等你到天明 (新疆哈薩克民謡／瞿希賢 編曲)

新疆ウイグル自治区北部に暮らすハザク族の民謡。美しいラブソングである。

恰似你的溫柔 (梁弘志 詞曲／黃世雄 編曲)

梁弘志にとって初めての出版作品。黄世雄により男声合唱とバリトンソロのために2007年に編曲された。

鳳陽花鼓 (安徽民謡／馬文 編曲)

中国中部、安徽省に伝わる民謡。醜い女性と結婚した男性を描いたコミカルな曲。